

ネットワーク接続 SSD

(BrightSign 対応)

BSNAS-FS1 取扱説明書

3 版

株式会社 エフスタジオ

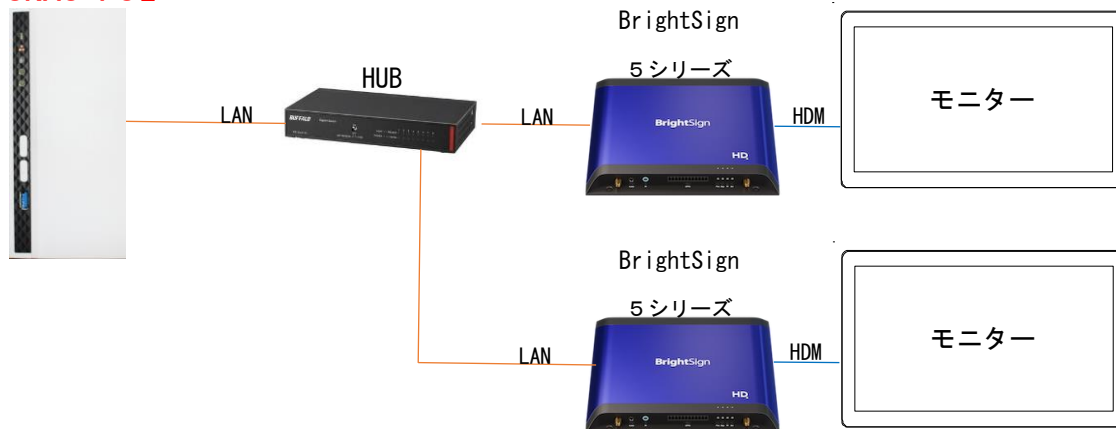
目 次

1. 主な機能.....	2
2. BrightAuthor:connected設定方法	3
3. USBメモリー 同期コピー	6
4. BrightSignへのUDP 送信ポート変更方法	7
5. IPアドレス設定変更方法.....	7
6. 起動終了時間の設定	9
7. UPSの接続設定.....	10
8. ブレーカーでの電源管理	11

1. 主な機能

- BrightSign 5 シリーズより NAS 内 HTML コンテンツ経由でフォルダー内の動画静止画を上映する装置 （4k 動画、インターレース動画は非対応）

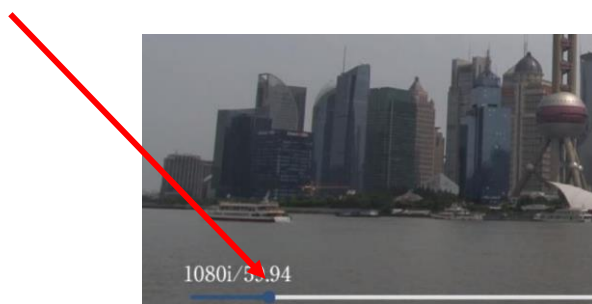
BSNAS-FS1



- フォルダー内動画、静止画が複数で指定ファイル名の場合に順番に再生できる。
動画ファイル名下 2 桁での別音量設定ができる。



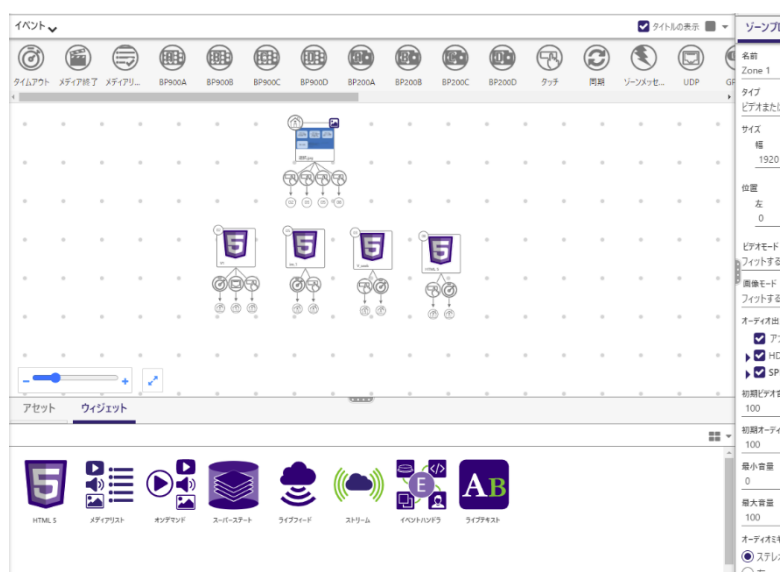
- 動画への簡易シーク機能を可能。



- BSNAS-FS1 の USB メモリー同期コピー機能を使う事で簡単に動画や静止画を更新する事ができる。



2. BrightAuthor:connected 設定方法



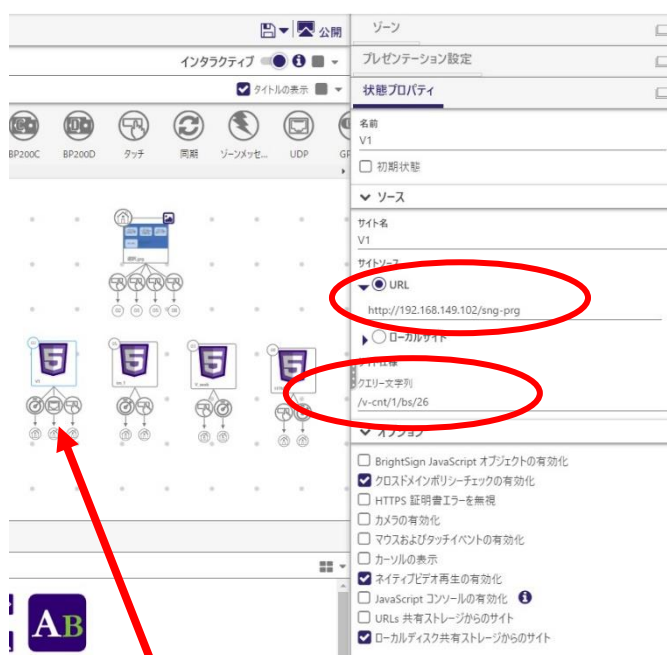
サイトソース → NAS 内 URL[http://192.168.***.*/sng-prg] を登録 (***,***/ NAS IP アドレス)
クエリー文字列 (Query String) に機能に合わせ登録

■動画の場合

クエリー文字列

[/v-cnt/1/bs/26]

記述説明「/動画フォルダー/フォルダー番号/bs/BrightSignIP アドレスホスト部」



全て動画再生終了で NAS から BrightSign へ UDP[hm] 送信し戻る。

■静止画の場合

クエリー文字列

[/i-cnt/1/bs/26]

「/静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」 （静止画切り替えは5秒カット切替）

- ・ 静止画拡張機能 1(切り替え時間設定)

[/i-cnt/1/bs/26/dur/7]

「/静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部/切替秒数」

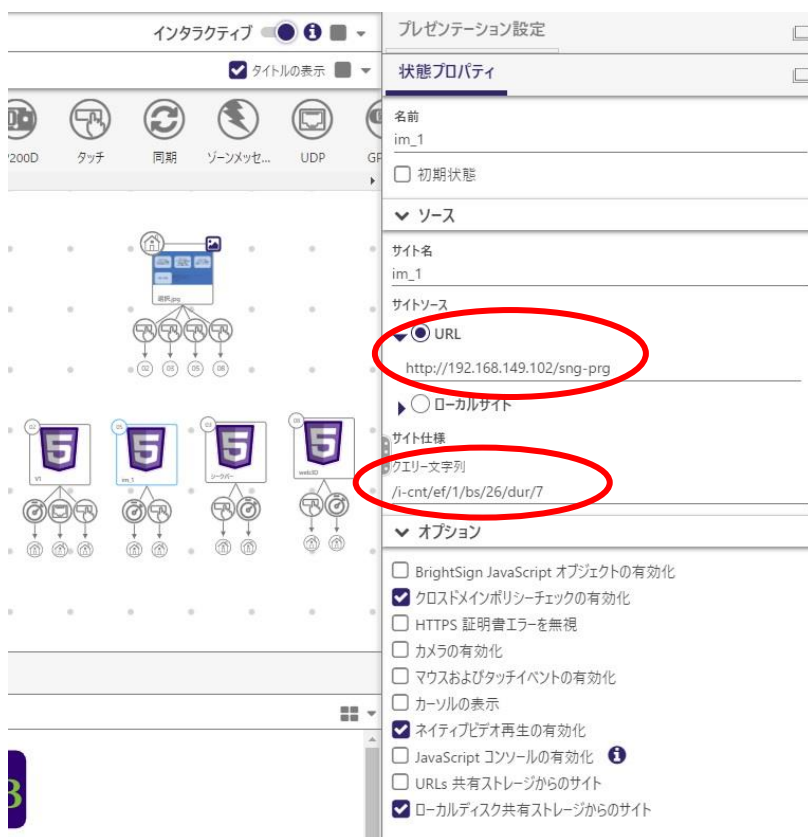
（静止画切り替えは7秒カット切替）

- ・ 静止画拡張機能 2(フェイド切り替え設定)

[/i-cnt/ef/1/bs/26/dur/7]

「/静止画フォルダー/フェイド設定/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」

（静止画切り替えは7秒フェイド切替）

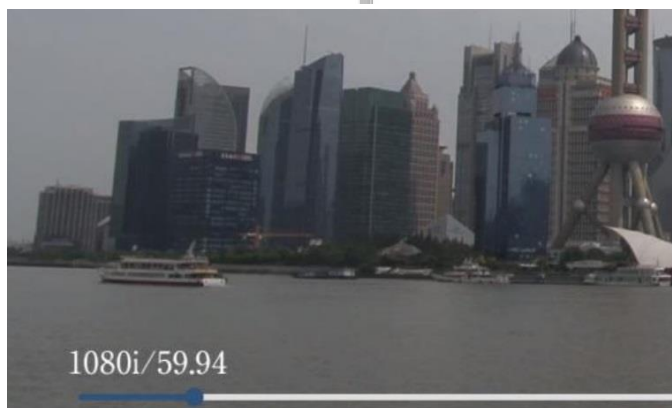
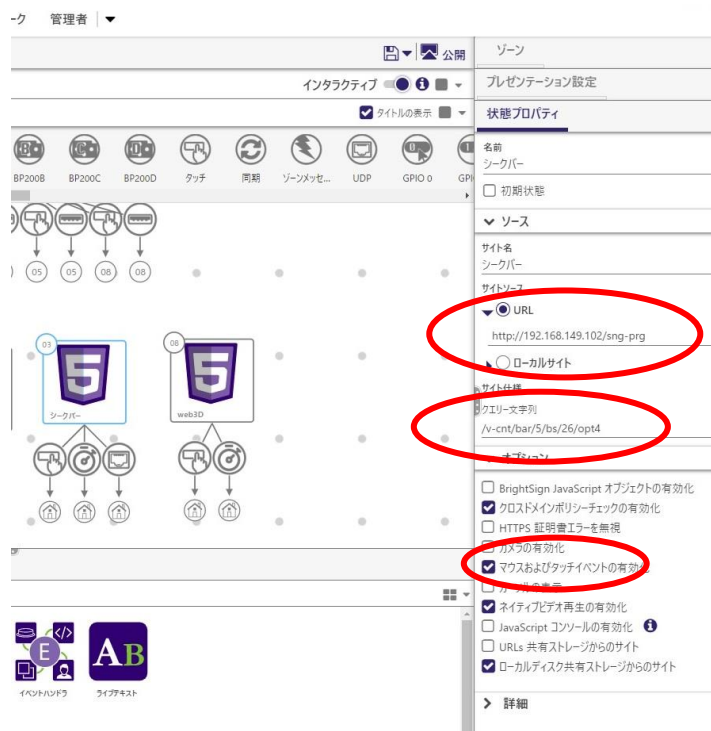


■動画簡易シーク機能設定

クエリー文字列

[/v-cnt/bar/1/bs/26/opt4]

「/動画フォルダー/シークバー/フォルダー番号/bs/BrightSignIP アドレスホスト部/シークバーの色」



バーの色

- opt1 青
- opt2 ピンク
- opt1 黒
- opt1 白

3. USB メモリー 同期コピー

USB を挿してからインジケータが点滅から点灯に変わり、コピーボタンを押して離すと
ブザー音が鳴り、同期コピー開始 点滅から点灯でコピー完了

コピーボタンを 6 から 10 秒押すとブザーが鳴り、インジケータ点灯が消灯してから USB を抜いて完了



USB メモリー内のフォルダー構成は

¥sng-content¥img-cnt¥i-cnt1	(静止画フォルダー1)
¥i-cnt2	(静止画フォルダー2)
¥i-cnt3	(静止画フォルダー3)
¥i-cnt4	(静止画フォルダー4)
¥i-cnt5	(静止画フォルダー5)
¥prg-cnt	(プログラムフォルダー変更不可)
¥video-cnt¥v-cnt1	(動画フォルダー1)
¥v-cnt2	(動画フォルダー2)
¥v-cnt3	(動画フォルダー3)
¥v-cnt4	(動画フォルダー4)
¥v-cnt5	(動画フォルダー5)

4. BrightSign への UDP 送信ポート変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから表示させると変更できる。(デフォルト 5000)

http://192.18.***.*/sng-app/udp_send3.php?bs=22

尚、***.*** NAS IP アドレス

最後の文字は BrightSign IP アドレスホスト部となる。

[Send UDP Message]

url:192.168.149.22 port:5000

ポート番号変更

Home

[hm]

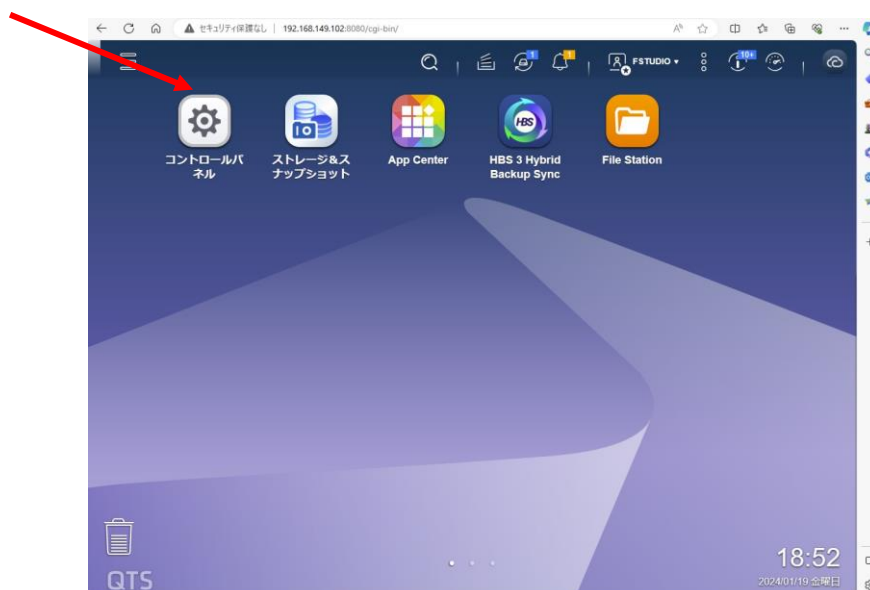
NAS から BrightSign へ UDP 「hm」 テスト送信ボタン

5. IP アドレス設定変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから本体側面の管理者パスワードでログイン

<http://192.18.149.102:8080>

コントロールパネルを開く



コントロールパネルを開き ネットワーク・・・>>設定で変更できる。

ControlPanel

TS-233 ファームウェアバージョン: QTS 5.14.2596 CPU: Quad-core ARM Cortex-A55 Processor @ 2.0 GHz
シリアル番号: Q23TF010916 メモリ: 2 GB

システム
タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

権限設定
ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

ネットワークとファイルサー...
ネットワーク接続の管理、共有ファイルに対する QuFTP Service の設定、ごみ箱の保持レールの設定、Microsoft と Apple ネットワークシナジーに対する NFS と WebDAV プロトコルの有効化ができます。

ネットワーク

インターフェイス Wi-Fi

システムの既定のゲートウェイ: Adapter 1 (自動)

アダプターリスト

アダプター	状態	業者名	NIC モデル	Service
Adapter 1 (1GbE)	接続済み	QNAP	ARM Cortex-A55 Process	WOL

ゲートウェイ: 自動

アクティビティモニター
設定
VLANを追加
情報

設定

IPv4 IPv6 DNS

☐ DHCP 経由で IP アドレス設定を自動取得する

☒ 静的 IP アドレスを使用する

固定 IP アドレス: 192 . 168 . 149 . 102

サブネットマスク: 255.255.255.0 (/24)

既定のゲートウェイ: 192 . 168 . 149 . 1

ジャンプフレーム: 1500

ネットワーク速度: 自動交渉

適用 キャンセル

6. 起動終了時間の設定

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源>>電源スケジュールを開き設定できる。

The screenshot shows the ControlPanel interface. At the top, there's a header with the device name 'TS-233' and system information: 'ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596', 'CPU: Quad-core ARM Cort', 'シリアル番号: Q237F010916', and 'メモリ: 2 GB'.

The main content area is divided into sections: 'システム' (System), '権限設定' (Permissions), and 'ネットワークとファイル共有' (Network and File Sharing). The '電源' (Power) option is highlighted in the 'システム' section.

A red arrow points from the '電源' option in the 'システム' section to the '電源スケジュール' (Power Schedule) tab in the '電源' settings panel.

The '電源スケジュール' (Power Schedule) panel shows the following settings:

- ☒ スケジュールを有効にする
- ☐ レプリケーションジョブの進行中にスケジュールされた再起動/シャットダウンを延期する

Below these settings is a table with the following columns: '電源操作' (Power Action), 'スケジュール' (Schedule), '開始時間' (Start Time), 'ステータス' (Status), and 'アクション' (Action).

電源操作	スケジュール	開始時間	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/> シャットダウン	毎日	19:00	有効	
<input type="checkbox"/> サーバーの電源をオンに...	毎日	08:30	有効	

At the bottom of the panel, there is a '適用' (Apply) button.

7. UPS の接続設定

Omron と USB ケーブルで接続し UPS の電源を入れる。

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 外部デバイス>>UPS の設定画面。

ControlPanel

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cortex-A55 Processor @ 2.0 GHz
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム
タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

権限設定
ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

ネットワークとファイルサービス
ネットワーク接続の管理、共有ファイルに対する QuFTP Service の設定、ごみ箱の保持ルールの設定、Microsoft と Apple ネットワーキングに対する SMB と AFP サービスの管理、および NAS の設定を工場出荷時の状態に復元します。

外部デバイス

UPS **USB**

☒ USB 接続 ☐ SNMP 接続

☒ 停電した場合、サーバーをオフにする
分間: 1

☐ 停電した場合、システムは "自動保護" モードに移行する
分間: 1

*自動保護: NAS は実行中のサービスをすべて停止し、ボリュームのマウントをすべて解除し、再起動し、以前の状態に戻ります。

☐ ネットワークUPSサポートを有効にする
電源異常の場合に、次のIPアドレスの通知を許可する

追加 削除

IPアドレス

適用

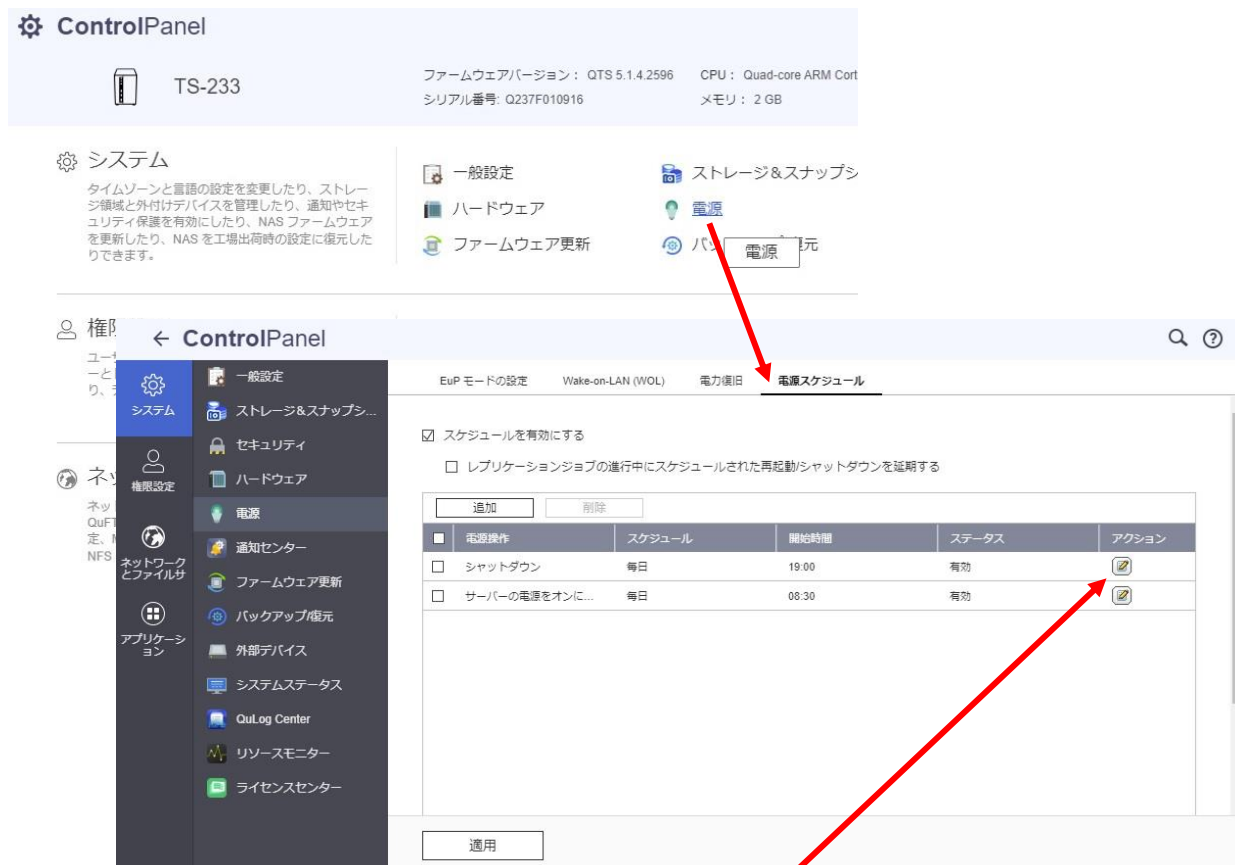
停電した場合のサーバーをオフにするを 1 分に設定

8. ブレーカーでの電源管理

Omron BY50S と USB 接続を確認

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源>>電源スケジュールを開き。



アクションを開きサーバーの電源 ON 時間をブレーカー起動予定前の時間に設定
シャットダウン時間の設定を、ブレーカーを切る時間以降に設定

オムロンサイトより UPS ユーティリティをダウンロード、セットアップを行い
BY50S と設定用パソコンと USB ケーブルで接続



設定用パソコンのダウンロードを行った下記 UPSSettingTool を起動



UPS と接続し、基本設定の最大バックアップ時間を 5 分に設定。

UPS と BSNAS-FS1 間を USB ケーブルで再度接続。

停電後（UPS 供給電源を切る）、約 2 分半で BSNAS-FS1 の電源が切れ、5 分で UPS の電源が切れる事を確認。

※停電や臨時の運用の場合に、BSNAS-FS1 が起動しない場合があるので
手動での起動を行う、長時間経過した翌日の起動は問題無い。